



111

180

裏面白紙

15年4月12日
 外信472號
 號
 淨書
 校合

大臣
 次官

逓信省電務局長

朝鮮總督府逓信局長

台灣總督府交通局長
 宛

關東廳逓信局長

樺太廳內務部長
 南洋局長
 (托殖局經由)

局長 電務
 課長 外信

逓信省

萬國電信會議ニ於ケル投票權ハ萬國電信條約第十九條ニ依リ各國ノ電信主管廳ヲ單位トシテ之ヲ定ムルコトヲ得ル結果主要各國ハ從來本國電信主管廳ト別ニ殖民地電信主管廳ノ代表者ヲ參列セシメ之ニ對シ前記第十九條ニ依リ投票權ヲ求メ電信條約ニ於テハ其等殖民地ノ獨立ノ當事者トシテ萬國電信聯合ヲ形成セシメ居リ候處有キ這般巴黎會議ニ參列シタル帝國委員ノ

(廣志・上田勝)

電信省

復命ニ依リハ此等各國ハ其ノ有スル投票權ニ依リ議場ニ於テ相當ノ勢力ヲ有シ居ルニ拘ラス帝國ノ投票權カ僅ニ一票ニ過キサルハ各國トノ權衡上歎カラサル不利アルモノト認メタル趣ニ有之現ニ帝國ハ萬國無線電信條約ニ於テ二箇萬國郵便條約ニ於テ三箇ノ投票權ヲ有シ居ル次第ニ有之候ニ付將來萬國電信條約上殖民地主管廳ヲ獨立ノ當事者トシテ相當ノ投票權ヲ獲得スルノ要アルモノト思料セラレ

候仍テ當省ニ於テ又目下本件講究中ニ候得共殖民
地至管廳カ萬國電信聯合ノ獨立ノ當事者ト成ルニ
於テ萬國電信條約第十四條及業務規則第八十三條ニ
依リ萬國電信聯合總局ノ經費ヲモ獨立シテ負擔ス
ヘキ結果ト相成關係有之貴方ニ於テモ豫メ御研究
置相成様致度此候得貴意候也

逓信省郵務局印章

冬
昭

(一)

(一) 電信會議ニ於ケル投票權

逓信省

電信會議ニ於テハ投票權ハ一主管廳一票主義ヲ執リ一
國內ニ數多ノ主管廳存在スル場合ニ於テ各主管廳ニ
對シ投票權ヲ求ムトセハ條約第十六條ニ依リ會議開催
前會議ニ催國ノ外交上ノ手續ヲ經テ申出テ且會議ノ際
ハ各別ノ代表者ヲ出スヲ以テ延ルモノトセリ
右ノ如ク電信聯合ハ大体至管廳ヲ單位トスルヲ以テ聯合

ノ費用ノ如キニ至管廳ノ數ニ依リ按分ナルモノトセリ
 因ニ現ニ各主要國ノ有ル投票權ハ左ノ如シ

英國(六)

本國	—
南亞	—
濠洲	—
新西蘭	—
印度	—
セロン島	—
佛國(四)	—
本國	—
仏領印度支那	—

選信省

選信省

ケニス	—
佛領ソマリ	—
ニニカレドニア	—
マヌガスカール	—
セネガル	—
シリア	—
本國	—
トリポリ	—
エリトレート	—
シレナイカ	—
伊領ソマリ	—
葡萄牙國(五)	—
本國	—

日本

アンゴラ
 モザンビーク
 フアフリカ^ニ於^ルケル
 蘭領^ニ殖民地
 フアフリカ^ニ於^ルケル
 蘭領^ニ殖民地
 フアフリカ^ニ於^ルケル
 蘭領^ニ殖民地
 フアフリカ^ニ於^ルケル
 蘭領^ニ殖民地

條約第十六條
 此會議ハ同盟各國ノ諸本局ヨリ派出スル所ノ理事官ヲ以テ成立スヘキモノトス
 會議ニ於テハ各本局ノ理事官數名アリトモ決議ノトキハ一人ヲ以テ算ス但一政府下ノ諸局ヨリシテ各此會議ニ列セント欲スルトキハ
 外國交際上ノ手續ヲ經テ期日附ニ其會議ヲ開クヘキ國ノ政府ヘ照會シ各別ノ理事官ヲ派出セシムルトキハ此限ニアラス
 右會議ニ於テ改正スル條件ヲト雖モ同盟國各政府ノ批准ヲ經タル後ニ非サレハ施行スヘカラス

逓信省總理印

参照

(一) 郵便會議ニ於ケル投票權

逓信省

郵便會議ニ於テ現ニ各主要國ノ有スル投票權ハ左ノ如シ

英國^(大) 本國並諸殖民地及保護領

カナダ

英領印度

オーストラリア^ニ聯邦

南亞聯邦

ニユー・ジラント^ニ

佛國^(大) 本國

4⁷ 2^ニ ス

印度支那、佛國殖民地及保護領

其他、佛國殖民地全体

アロツコ
アルカエリ

米國(三) 中國

フリツヒン諸島

フリツヒン諸島除ク
米國屬島全体

葡萄牙(三) 本國

亞細亞及南洋洲葡國殖民地

亞細亞及南洋洲葡國殖民地

日本(三) 本國

朝鮮

其他屬地全体

選信省

選信省

参照

(三) 無線電信會議ニ於ケル投票權

無線電信會議ニ於テ現ニ各主要國ノ有ル投票權左ノ如シ

英國 (方)

本國

南亞聯邦

オーストラリア聯邦

加那方

英領印度

エージラント

米國 (方)

本國

アラスカ

遞信省

遞信省辦理英印廳

裏面白紙

参考

萬國電信條約

逕信省

第十四條

細目規則中ニ云フ同盟國中各一政府下ニ置ク萬國電信事務局ハ萬國
電信ニ關スル諸般ノ報告ヲ集メ之ヲ整理出版シ税則並ニ細目規則ノ
改正ヲ請求スル者アラハ其書ヲ同盟國本局ニ回達シ而シテ衆議一致
シタル改正ノ件々ヲ廣告シ且萬國電信ノ裨益トナルヘキ諸項ヲ電勉
熟慮シテ之ヲ執行スル等ノ任ヲ受クルモノトス此事務局ニ於テ庶務
ヲ調理スル爲要スル費用ハ同盟國各本局ヨリ支給スヘシ

(Toutes les Administrations
des États contractants)

参考

國際業務規則

遞信省

第八十二條

一 電信聯合總管理局ノ共同費用ハ國際會議ノ開催ヨリ生スル特別ノ費用ヲ除キ一箇年十萬法ノ金額ヲ超過スヘカラス此ノ金額ハ總テノ締約國ノ同意ヲ經テ將來之ヲ増加スルコトヲ得ヘシ

二 條約第十四條ニ依リ總管理局ノ管理ノ爲指定セラレタル主管廳ハ其ノ經費ヲ監査シ必要ナル立替拂ヲ爲シ且毎年ノ計算書ヲ作成シ之ヲ總テノ他ノ關係主管廳ニ送附スルモノトス

三 費用分擔ノ爲締約又ハ加入ノ諸國ハ之ヲ六等ニ區分シ各等一定ノ部數ノ割合ニ於テ出金ス即

第一等 二十五部

第二等 二十部

第三等 十五部

第四等 十部

第五等 五部

第六等 三部

四 此ノ係數ニ各等ノ國數ヲ乘シ其ノ積ヲ加算シテ總部數ヲ獲之ヲ以テ經費ノ總額ヲ除シ其ノ商ヲ經費ノ一部ニ對スル金額トス
五 締約諸國ノ主管廳ハ費用出金ノ爲前項ニ記載シタル六等ニ左ノ如ク之ヲ分類ス

第一等 獨逸、亞然的音共和國、濠太利、奧地利、伯西兒、智

利、佛蘭西、大不列顛、洪島利、英領印度、伊太利、日本、露西亞、土耳其

第二等 西班牙

第三等 白耳義、蘭領印度、那威、和蘭、羅馬尼、瑞典

逓信省總理局印刷

第四等

「ボリヴイ」、喜望峰、丁抹、埃及、佛領印度支那、新西蘭、瑞西、「トランスヴァール」、「ウルゲー」

第五等

「ボスニーヘルゼゴヴィス」、勃爾瓦利、葡萄牙殖民地、希臘、「マダガスカル」、葡萄牙、「セネガル」、塞爾維、暹羅、突尼期

第六等

錫蘭、白耳義領公果、「クレイト」、**「エリトレー」**、「イスラント」、**「歴山堡、滿得混各羅、」**「ナタール」、「新加列士尼」、「オレンジ、リヴァー」殖民地、波斯

逓信省

逓信省郵務局印刷